

県内事業者のSDGs推進に係る企業版ふるさと納税受入促進業務委託プロポーザル審査要領

県内事業者のSDGs推進に係る企業版ふるさと納税受入促進業務委託を実施するに当たり、契約の締結先として最もふさわしい者を選定するため、提出のあった企画提案書の審査を以下のとおり実施する。

1 審査会の設置

- (1) 審査会の名称 県内事業者のSDGs推進に係る企業版ふるさと納税受入促進業務委託プロポーザル審査会
 (2) 構成人数 審査員の人数は鳥取県職員3名とする。

2 審査方法

提出された企画提案書等について、プロポーザル参加者からプレゼンテーションによる説明を聞いた上で、次の審査方法に基づき審査する。

- (1) 各審査員が審査した性能点(75点満点)の平均点と企画提案時の見積額を以下の算式に当てはめて算出した価格点(25点満点)を合計(100点満点)し、最も高得点を得た者から順位を付けるものとする。

○性能点の審査方法

ア 審査員が評価項目ごとに評価点を付け、倍率を乗じた点数を合計した得点を当該審査員の性能点の得点とする。

【評価項目】

評価項目	評価の視点	倍率	満点
①業務遂行能力	業務を適正かつ確実に遂行する体制(寄附者情報の適切な管理、従事職員数、業務フロー等)を有しているか。	×5	25点
②寄附増加につながる取組	提案者の強みを活かし、企業版ふるさと納税制度の趣旨に反しない範囲において寄附を増加させるための独自性のある取組の提案があるか。	×5	25点
③業務実績	類似業務(各種制度・プロジェクトの企業への紹介・情報発信、募集、開拓、マッチング等の業務)について他自治体等での業務実績	×5	25点

【評価点】

評価点	評価項目ごとの評価基準		
	①	②	③
5点	非常に優れており、大いに業務遂行能力が期待できる。	仕様書の要件を非常に大きく上回る優れた提案である	類似業務実績が十分にある
4点	—	仕様書の要件を大きく上回る優れた提案である	—
3点	業務遂行能力が期待できる	仕様書の要件をやや上回る優れた提案である	類似業務実績がある
2点	—	仕様書の要件を満たした提案である	—
1点	業務遂行能力が期待できない	仕様書の要件を満たしていない	類似業務実績がない

イ アで得られた各審査員の得点の平均点を当該企画提案書の性能点の得点とする。

ウ 原則として絶対評価により評価する。

エ 各項目の評価点を「1」と付した審査員があるときは、総合得点にかかわらず失格とすること。

○価格点の審査方法

企画提案時の見積額を以下の計算式に当てはめて得られた得点を価格点とする。

評価項目	評価の基準	満点
見積額	$\text{配点} \times \left[1 - \frac{\text{見積額}}{\text{委託上限額}} \right]$ ※委託上限額を超える見積額は失格	25点
合計25点		

- (2) (1)の審査方法により最も高い得点を獲得した者を、最優秀提案者として選定する。ただし、同点の提案者が複数となった場合には、審査員の合議による順位を決定する。